

母の手を握った。
ほろ苦い記憶と、
宝物だった日々が
深く深く沁みわたっていく。



Blueback

ブルーバック

あの海を見ていた

SCREEN AUSTRALIA IN ASSOCIATION WITH SCREENWEST AND LOTTERYWEST AND THE WEST AUSTRALIAN REGIONAL FILM FUND FILM VICTORIA HANWAY FILMS PICK UP TRUCK PICTURES AND SOUNDFIRM PRESENT AN ARENAMEDIA PRODUCTION A ROBERT CONNOLLY FILM
MIA WASIKOWSKA RADHA MITCHELL ISA YOGG IZ ALEXANDER AREL DONOGHUE CLARENCE RYAN PEDREA JACKSON ERIC THOMSON EDDIE BAROO AND ERIC BANJA "BLUEBACK" CASTING DIRECTOR JANE NORRIS COO. THA & MAKE UP DESIGNER KAREN SIMS
COSTUME DESIGNER LIEN SEE LEONG PRODUCTION DESIGNER CLAYTON JALINCEY SOUND CHRIS GOODES TREVOR HOPE GLENN NEWMAN ANDY WRIGHT COMPOSER NIGEL WESTIAKE FILM EDITOR NICK MEYERS ASL UNDERWRITER CINEMATOGRAPHER RICK RIFCI
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY ANDREW COMWIS ACS EXECUTIVE PRODUCERS ANDREW MYER ROBERT PATTERSON ERIC BANJA JOEL FEARMAN JOANNA BAEVSKI RICC SWART IORRAINE TARABAY NICHOLAS LANGLEY HAYLEY BAILE JAMES BAILE
MICHELE TURNURE SAILED ARTHUR HUMPHREY ASSOCIATE PRODUCERS BEC BIGNELL TARA BLUSTON AUCIA BROWN JONATHAN DUFFY PRODUCED BY IZ KEARNEY JAMES GRANDISON ROBERT CONNOLLY
BASED ON THE BOOK "BLUEBACK" BY TIM WINTON. ADDITIONAL WRITING BY TIM WINTON. SCREENPLAY BY ROBERT CONNOLLY. DIRECTED BY ROBERT CONNOLLY



第47回
トロント国際映画祭
正式出品

第40回
サンダンス映画祭
正式出品

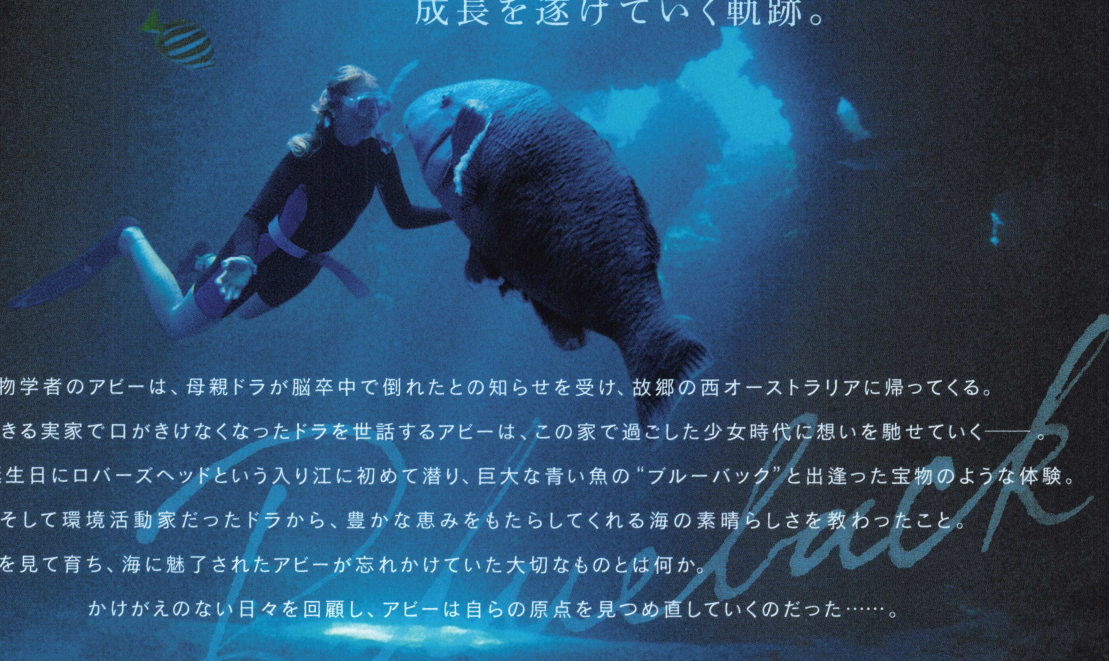
オーストラリアの人里離れたのどかな入り江。故郷の海を守る母ドラの背中を見て育った海洋生物学者のアビー。
母から受け継いだ大切なものと、忘れかけていた〈秘密の友達〉とは ——

監督・脚本：ロバート・コノリー 原作・脚本協力：「ブルーバック」ティム・ウィントン（小竹由美子 訳／さ・えら書房刊） 出演：ミア・ワシコフスカ、ラダ・ミッチェル、イルサ・フォグ、アリエルド・ノビュエ、リス・アレクサンダー、エリック・バナ
2022年/オーストラリア/英語/スコープ/カラー/5.1ch/102分 原題：BLUEBACK 日本語字幕：横井和子 後援：オーストラリア大使館 提供：キングレコード 配給：エスバース・サロウ ©2022 ARENAMEDIA PTY LTD. SCREENWEST AUSTRALIA LTD AND SCREEN AUSTRALIA

まばゆいターコイズブルーに彩られた映像美とともに描き出す

母娘で紡ぐ故郷の海への想い ——

豊かな恵みをもたらすオーストラリアの海に育まれた少女が
成長を遂げていく軌跡。



若き海洋生物学者のアビーは、母親ドラが脳卒中で倒れたとの知らせを受け、故郷の西オーストラリアに帰ってくる。美しい海を一望できる実家で口がきけなくなったドラを世話するアビーは、この家で過ごした少女時代に想いを馳せていく——。

8歳の誕生日にロバースヘッドという入り江に初めて潜り、巨大な青い魚の“ブルーバック”と出逢った宝物のような体験。そして環境活動家だったドラから、豊かな恵みをもたらしてくれる海の素晴らしさを教わったこと。

ドラの背中を見て育ち、海に魅了されたアビーが忘れかけていた大切なものとは何か。

かけがえない日々を回顧し、アビーは自らの原点を見つめ直していくのだった……。

『渇きと偽り』のロバート・コノリー×ミア・ワシコウスカ オーストラリアの実力派監督&スター俳優が結集!

監督はクライム・サスペンス『渇きと偽り』が好評を博したロバート・コノリー。97年に出版されたティム・ウイントンの原作小説に魅了され、長らく映画化を熱望してきたコノリーにとって、本作はその夢を叶えたプロジェクトとなった。国際的に活躍するオーストラリアの実力派キャストによるアンサンブルも見逃せない。アビーを演じるのは、『アリス・イン・ワンダーランド』で脚光を浴びたのち、ジム・ジャームツシュ、パク・チャヌク、デヴィッド・クローネンバーグといった名だたる巨匠、鬼才の作品に

出演してきたミア・ワシコウスカ。母との絆、自然との結びつきを心の支えに、よりよき未来をたくり寄せようとするアビーの心模様を繊細に表現した。そして『サイレントヒル』のラダ・ミッチェルがバイタリティ溢れる母ドラを演じ、コノリー監督の前作『渇きと偽り』で主演・プロデューサーを務めたエリック・バナが、母子と心を通わせる漁師マッカ役に登場する。さらに8歳と15歳のアビーをそれぞれ演じたふたりの新星、アリエルド・ノヒューとイルサ・フोगが、映画にみずみずしい躍動感を吹き込んでいる。



監督・脚本：ロバート・コノリー 原作・脚本協力：「ブルーバック」ティム・ウイントン（小竹由美子 訳/さ・えら書房刊）
出演：ミア・ワシコウスカ、ラダ・ミッチェル、イルサ・フोग、アリエルド・ノヒュー、リズ・アレクサンダー、エリック・バナ
2022年/オーストラリア/英語/スコープ/カラー/5.1ch/102分 原題：BLUEBACK 日本語字幕：横井和子
後援：オーストラリア大使館 提供：キングレコード 配給：エスパー・サロウ

©2022 ARENAMEDIA PTY LTD. SCREENWEST (AUSTRALIA) LTD AND SCREEN AUSTRALIA

文部科学省選定（青年、成人向き）

ブルーバック

あの海を見ていた



@bluebackjp blueback.espace-sarou.com

12.29(金) Roadshow

特別鑑賞券 ¥1,500 (税込) 絶賛発売中! ムビテケオンライン券も発売中!

劇場窓口でお買い求めの方に限り、オリジナルポストカードをプレゼント! (数量限定)



JR恵比寿駅東口徒歩8分 恵比寿ガーデンプレイス内
YEBISU GARDEN CINEMA
0570(783)715
www.unitedcinemas.jp/ygc/

銀座4丁目交差点 和光裏通り 全席指定入替制
シネスイッチ銀座
03-3561-0707 www.cineswitch.com